

## 地方創生関連交付金 KPIの進捗状況及び評価結果

事業名	ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業					
担当課	産業経済部商工観光課	事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	県内全域を舞台としたサイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」を開催することで、自転車によるまちづくりを推進し、一層の観光誘客、地域活性化を図る。		市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす		
			交付金の名称	地方創生推進交付金		
			総事業費	700千円		
			交付金額	350千円		
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称		基準値	R1実績値	R1目標値	補足説明
	KPI①	公営レンタサイクル利用者数	56,710人 (H28)	69,429人	60,538人	
	KPI②	ツール・ド・とちぎ公式HP 閲覧回数	1.6万回 (H28)	26万回	31.3万回	
	KPI③	外国人宿泊者数	18.1万人 (H27)	24.7万人	27.4万人	
	KPI④	観光消費額	5,132億円 (H27)	7,054億円	6,530億円	
活動状況	<p>[主催] 特定非営利活動法人ツール・ド・とちぎの会                  [主管] ツール・ド・とちぎ実行委員会                  [期間] 令和2年3月20日から3月23日の3日間                  さくら市の通過なし(平成28年度と平成30年度は通過)                  ※平成28年～令和元年の4年間で、栃木県内の全市町を2巡する計画。</p> <p>○さくら市における事業                  ・大会負担金支払(700千円)                  ・実行委員会、担当課長会議出席                  ・大会周知ポスター掲示                  ・サイクルフォトラリーへの協力(景品提供)</p>		主な効果	<p>※第4回大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止。(令和2年3月16日決定)                  →観客動員数や経済波及効果の測定不可。</p> <p>・自転車によるまちづくりの推進や観光誘客など、地方創生に一定の効果があった。</p>		
今後の方針	<p>本事業は令和元年度をもって終了。                  今後は、本大会を通じた自転車利用の機運醸成の効果を注視し、自転車によるまちづくりについて、市としての方向性を検討する。</p>					

## 地方創生関連交付金 KPIの進捗状況及び評価結果

事業名	観光おもてなしと地域ブランド情報発信拠点整備事業					
担当課	産業経済部商工観光課	事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	市の玄関口であるJR氏家駅前に、市の観光情報等の発信及び市内観光施設への回遊促進に寄与し、また市民活動の活性化を図る観光拠点施設(さくらテラス)を整備する。	市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす			
		交付金の名称	地方創生拠点整備交付金			
		総事業費	160,682千円			
		交付金額	70,501千円			
重要業績成果指標(KPI)	指標名称		基準値 (H28)	R1実績値	R2目標値	補足説明
	KPI①	地域特産品販売金額	0千円	5,392千円	10,000千円	さくらテラスでの販売額
	KPI②	年間観光入込客数	714千人	1,954千人	1,000千人	商工観光課調査
	KPI③	地域雇用数	0人	4人	5人	さくらテラス従業員数
	KPI④					
活動状況	<p>○令和元年度にさくらテラスで実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さくらフェスタ (5/3~5/6)</li> <li>・ ニッカミュージアム&amp;バー (5/18~6/2)</li> <li>・ さくら1周年記念イベント (5/19)</li> <li>・ Honda Racing展示 (9/18~10/14)</li> <li>・ ちょうどいい!さくらマルシェ (10/13)</li> <li>…台風19号の影響により中止。</li> <li>・ ベストセレクションinさくらテラス (11/23)</li> <li>…仙禽の飲み比べ等のイベント実施。</li> <li>・ 氏家雛めぐり (2/8~3/8)</li> </ul>		主な効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度のさくらテラスの利用者数：35,755人</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響により、1~3月期の利用が減少。</li> <li>・ イベント数及び利用者数が増加しており、観光拠点として効果的な役割を果たしている。</li> </ul>		
今後の方針	新型コロナウイルス感染症の今後の感染の広がりや国や県の動向を見ながら、駅前交流拠点でのイベント実施や駅前交流拠点を中心とした人の動線を形成することについて検討する。					

## 地方創生関連交付金 KPIの進捗状況及び評価結果

事業名	商店街の周遊性の向上に資する観光拠点の整備事業					
担当課	教育委員会事務局生涯学習課	事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	瀧澤家住宅の魅力を向上させ、来館者の増加を図るとともに、氏家駅から徒歩で来館するように誘導することで氏家駅から瀧澤家住宅までの間にある商店街の利用者の増加を図る。		市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす		
			交付金の名称	地方創生推進交付金		
			総事業費	95,900千円		
			交付金額	25,868千円		
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称		基準値 (H29)	R1実績値	R4目標値	補足説明
	KPI①	施設の入館者数	4,768人	8,396人	10,400人	生涯学習課調査
	KPI②	空き店舗への出店数	0店	2店	8店	商工観光課調査
	KPI③	民間事業者による瀧澤家住宅を活用した旅行企画数	0件	1件	8件	生涯学習課調査
	KPI④					
活動状況	<p>○令和元年度に実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀧澤家住宅内の鐵竹堂の再整備 (6/28完成)</li> <li>・プレオープン (8/13~)</li> <li>・本オープン (10/13~)</li> <li>・本オープン記念式典 (10/27)</li> <li>・十二単と狩衣の着付け体験 (11/23)</li> <li>・第1回瀧澤家出発うじいえ歴史散歩 (11/30)</li> <li>・第2回瀧澤家出発うじいえ歴史散歩 (12/15)</li> <li>・繭玉工作体験 (12/22)</li> <li>・お琴の演奏会とワークショップ (1/19)</li> <li>・ふるさとの民話、楽しい昔話を聞こう (1/25)</li> <li>・陶芸展 さくら・桜・SAKURA (3/20~4/15)</li> </ul>		主な効果	瀧澤家住宅を活用した展示やイベント等を通じて、施設の魅力発信を行い、来館者が増加した。		
今後の方針	新型コロナウイルス感染症の今後の感染の広がりや国や県の動向を見ながら、瀧澤家住宅設置の目的に沿った公演、講演会、ワークショップ、イベント等の事業実施の検討や貸し出しスペースの利用促進を行っていく。					

## 地方創生関連交付金 KPIの進捗状況及び評価結果

事業名	「新たな魅力の発見と発信」交流人口倍增計画					
担当課	総合政策部総合政策課	事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	道の駅きつれがわ・さくらテラスを観光の拠点とし、それぞれの周遊観光を強化するとともに両拠点を連動させることで市内全体の活性化に繋がる戦略的プロモーションを展開する。	市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす			
		交付金の名称	地方創生推進交付金			
		総事業費	130,309千円			
		交付金額	65,154千円			
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称		基準値 (H29)	R1実績値	R2目標値	補足説明
	KPI①	新事業における駅前拠点及び隣接公共施設利用人数	0人	64,727人	40,000人	さくらテラス・さくらスクエアの利用者数
	KPI②	道の駅きつれがわ年間利用者数	550千人	1,043千人	750千人	レジの通過者数
	KPI③	駅前運営主体組織の売上高	0円	5,392千円	5,000千円	さくらテラスでの販売額
	KPI④	年間観光入込客数	780千人	1,954千人	1,560千人	商工観光課調査
活動状況	<p>○令和元年度に実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーション戦略に基づく、シネアド（映画館広告）の実施。</li> <li>・道の駅きつれがわ及びさくらテラスでのプロジェクトマッピング投影。</li> <li>・エコバック「さくらトートバック」の販売</li> <li>・訪日外国人向けのさくら市PR動画の作成</li> <li>・氏家駅前交番でのプロジェクトマッピング</li> </ul> <p>…1回目（11/19～11/22）、2回目（12/5～12/15）</p>		主な効果	さくら市の知名度向上やシビックプライドの醸成など、地域活性化や本市への誘客を図り、地方創生に一定の効果があった。		
今後の方針	引続き、シティプロモーション戦略に基づく事業の実施、PR手法の統一と市ロゴとキャッチコピーの活用推進、市外に向けた広告展開等を行っていく。					

## 地方創生関連交付金 KPIの進捗状況及び評価結果

事業名	商店街の景観・ホスピタリティ向上事業					
担当課	産業経済部商工観光課	事業実施年度	令和元年度			
事業の概要	まちづくりの推進や市街地の魅力の向上の為に、商店等を利用する住民・市街地を周遊する観光客が気軽に休憩をとることができ、かつ、地域交流の場として活用できるような滞留空間を整備・活用することにより、商店街の景観や市内外の周遊者に対するホスピタリティを向上させ、「市街地そのものの魅力の向上」を図る。	市戦略の基本目標	2 定住人口・交流人口を増やす			
		交付金の名称	地方創生推進交付金			
		総事業費	34,030千円			
		交付金額	17,015千円			
重要業績成果指標 (KPI)	指標名称		基準値 (H30)	R1実績値	R5目標値	補足説明
	KPI①	店前景観整備事業を活用した商店等の売上の向上率	0%	0%	90%	
	KPI②	売上げアップ店内改修モデル事業を活用した商店等の売上の向上率	0%	0%	90%	
	KPI③	店前景観整備事業により作成した店前景観モデルデザインを利用した商店等の数	0件	12件	30件	商工観光課調査
	KPI④	市街地に賑わいがあると思う市民の割合	11.1%	17.3%	20.5%	アンケート調査
活動状況	<p>○令和元年度に実施した主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店前景観整備推進事業、売上げアップ店内改修モデル事業</li> <li>…店前・店内デザインモデル店舗の募集・決定・作成</li> <li>・立寄り率アップ研修会開催事業</li> <li>…専門家委託による店舗経営者等の研修会</li> <li>・まちなかおもてなし空間整備計画策定事業</li> <li>…専門家委託による滞留空間及び道路デザインの作成</li> </ul>		主な効果	<p>本事業は開始から間もなく、実際の効果は限定的と思われる。</p> <p>ただし、他のまちづくり事業が奏功したこともあり、賑わいを感じる市民の割合が向上している。</p>		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モデル店舗」については、事業の実施後もモニタリングを継続するとともに、他の商店等の経営者の研修に活用する等、市街地の賑わい創出のための素材として、中・長期的に活用する。</li> <li>・滞留空間の整備を実施する。（喫茶フェニックス及び参番館周辺）</li> </ul>					